

小型グラインダー 説明書

1. 使用上の注意

・本製品に適していない砥石は使用しないでください。砥石の定格速度は本製品の最高速度と同等以上でなければいけません。

・砥石の外形と厚さ、内径は本製品の定格容量内である必要があります。サイズが合わない砥石は、適切に保護または制御することができません。

・砥石の取り付けネジは、グラインダーのネジに合わせる必要があります。砥石をフランジで取り付ける場合、砥石の穴がフランジの位置決め直径に合っている必要があります。本製品の取付金具に合わない砥石は、バランスが崩れ過度な振動が発生し、制御不能になることがあります。

・破損した砥石は使用しないでください。研磨ホイールに欠けや亀裂がないかなど、毎回使用前に砥石を点検してください。電動工具や砥石を落とした場合は、破損していないか点検してから使うか、破損していない砥石と交換してください。砥石を点検して取り付けたら、自分自身や周囲の人を回転する砥石の平面から遠ざけ、本製品を最大無負荷回転数で1分間作動させて確認してください。砥石が損傷していた場合は、通常この試験中に分解されます。

・使用の際は保護具を着用してください。用途に応じて、顔面シールド、安全ゴーグル、または安全眼鏡を使用してください。必要に応じて、小さな研磨材やワークピースの破片を止めることができる防塵マスク、聴覚保護具、手袋、作業用エプロンも着用してください。目の保護具は、様々な作業で発生する飛散物を止めることができるものでなければなりません。防塵マスクまたは呼吸マスクは、作業によって発生する粒子をろ過できるものでなければなりません。長時間、強い騒音にさらされると、聴力障害を起すことがあります。作業者の傍観者は作業場所から安全な距離をおき、作業区域に入る場合は保護具を着用してください。工作物の破片や破損した砥石が飛散し、作業範囲を超えてけがをすることがあります。

・砥石が完全に停止するまで、本製品は絶対に横向きに置かないでください。回転している砥石が表面をつかみ、本製品を制御不能にすることがあります。

・本製品を運転させた状態で持ち運びしないでください。回転する砥石に誤って接触すると、衣服に引っかかり、砥石が身体に引き込まれることがあります。

・本製品の通気孔は、定期的に清掃してください。モーターのファンで筐体内の塵埃を吸引し、金属粉が過剰に蓄積すると、電気的な危険性があります。

・可燃物の近くで本製品を操作しないでください。火花で引火する恐れがあります。

・本製品は、切断工具として使用することを目的としています。サンディング、ワイヤーブラシ、研磨などの作業を行うことはお勧めしません。本説明書をしっかりと読み、以下の指示に従わない場合、感電、火災、重傷の原因となることがあります。

・液体クーラントを必要とする砥石は使用しないでください。水やその他の液体クーラントを使用すると、感電することがあります。

・本製品は、絶縁されたグリップ面以外を持たないでください。切断砥石が隠れた配線に接触する可能性のある作業を行う場合には特に注意してください。切断砥石が「生きている」電線に接触すると、本製品の露出した金属部分が「生きている」状態になり、操作者が感電する恐れがあります。

・回転中のホイール、バックパッド、ブラシなどの付属品が挟まったり引っかかったりした場合に起こる急激な反動のことをキックバックといいます。例えば、研磨ホイールがワークピースに引っかかったり挟まれたりした場合、挟まれた部分に入り込んでいるホイールの縁が材料の表面に食い込み、ホイールが飛び出したり蹴飛ばされたりする可能性があります。砥石は、挟まれた場所での砥石の動きの方向によって、作業者の方に飛び出したり、離れたりすることがあります。キックバックは、電動工具の誤用や不適切な操作手順・条件によるものであり、以下のような適切な予防措置をとることで回避できます。

・始動時のキックバックやトルク反作用を最大限に制御するために、補助ハンドルがある場合は必ず使用してください。適切な予防措置を講じれば、作業者はトルク反作用やキックバック力を制御することができます。

・回転する砥石に手を近づけないでください。回転している砥石に手を近づけると、キックバックが発生することがあります。キックバックが発生した場合、本製品が移動する領域内に体を置かないでください。キックバックが発生すると、反動により工具が回転の動きと反対方向に強く動くので、ひっかかりが発生します。

・角や鋭角もしくは凹凸面のある場所での作業には砥石の跳ね返りやひっかかりを防止するよう、特に注意してください。回転するアクセサリに引っかかる傾向があり、制御不能やキックバックの原因になります。

・チェーンソーの砥石を取り付けしないでください。キックバックが頻発し、制御不能になることがあります。

・パワーツールに推奨される砥石と、その砥石に対応したカバーを使用してください。電動工具の設計にない砥石は、十分なガードができず危険です。ガードは電動工具にしっかりと固定し、安全性を最大限に高めるため、砥石が作業者の方に最も露出しないような位置に取り付けてください。ガードは、破損した車輪の破片、偶発的な車輪との接触、衣服に引火する火花から作業者を保護するのに役立ちます。

・砥石は、推奨用途にのみ使用してください。例：切断ホイールの側面で研削しないでく

ださい。砥石は周囲研削用で、横からの力が加わると粉碎することがあります。

- ・砥石フランジは、常に破損していない、選択した砥石に適したサイズと形状のものを使用してください。適切な砥石フランジは、砥石を支持し、砥石の破損の可能性を低減させます。切断砥石のフランジは、研削砥石のフランジと異なる場合があります。

- ・大型電動工具の磨耗した砥石は使用しないでください。大型電動工具用の砥石は、小型電動工具の高速回転に適さず、破裂することがあります。

- ・砥石に過度な圧力をかけたりしないでください。過度の切り込み深さを作ろうとしないでください。砥石に過度の負担をかけると、負荷が大きくなり、切り口で砥石がねじれたり、キックバックや砥石が破損したりする可能性が高くなります。

- ・回転している砥石に体を近づけたり、見えない位置で作業をしたりしないでください。操作の際に砥石が身体から離れると、キックバックの可能性があり、回転している砥石と電動工具が直接身体に向かってくる場合があります。

- ・ホイールが工作物に刺さって動かなくなった場合、または何らかの理由で切断を中断する場合は、本製品のスイッチを切り、ホイールが完全に停止するまで動かさないでください。砥石が動いている間は、絶対に砥石を切り口から外さないでください。原因を調査し、解決策を講じてください。

- ・砥石が工作物に刺さった状態で切断作業を再開しないでください。再開の際には砥石を最高速度まで回転させてから、慎重に切口に入り直してください。工作物の中で電動工具を再起動すると、ホイールが跳ね返ったり、キックバックが起こったりすることがあります。

- ・ホイールの挟み込みやキックバックの危険性を最小限に抑えるため、大型のパネルや工作物を加工する際はクランプ等で固定してください。大きな工作物は、自重でたわむ傾向があります。砥石の両側で、切断線付近と工作物の角付近で工作物を下から固定する必要があります。

- ・外壁や死角になる部分に切り込み加工をする場合は特に注意してください。砥石の突出により、ガス管、水道管、電気配線、キックバックの原因となる物などを切断する恐れがあります。

- ・電線が隠れていないかどうか、適切な探知機を使用するか、最寄りの電力会社に連絡してください。電気ケーブルに接触すると、火災や感電の原因となることがあります。ガス管を破損すると、爆発する恐れがあります。水道管を破損すると、物的損害の原因となります。

- ・砥石は冷めるまで触れないこと。作業中、砥石は非常に高温になることがあります。

- ・電池を取り外すなどして電源が遮断された場合は、電源オフの状態にしてください。

- ・電池の破損や不適切な使用により、液体が放出されることがあります。また電池が発火したり、破裂したりすることがあります。万一、有害な影響が出た場合は、換気をよくし、医師の診察を受けるようにしてください。蒸気は呼吸器系を刺激することがあります。

・電池を開けないでください。ショートするおそれがあります。釘やドライバーなどの先の尖ったもの、または外部から力を加えると、バッテリーが損傷することがあります。内部短絡により、電池が焼損、発煙、破裂、発熱することがあります。電池は直射日光、火、汚れ、水、湿気にさらされないようにしてください。爆発やショートの危険性があります。研削盤が冷めるまで、研削盤に触れないでください。作業中、ディスクは非常に高温になることがあります。

2. 製品の仕様



3. 商品使用準備

3-1. バッテリー

※バッテリーは最初充電が不十分なので、ご使用前にフル充電にしてください。

- ・本製品が突然止まった場合、無理に動作をさせないでください。
- ・バッテリー廃棄の際には地域の指定方法に従ってください。

3-2. 保護具の装着

・本製品のメンテナンスを行う前には必ずバッテリーを取り外してください。また、運搬や保管の際にもバッテリーを取り外してください。不用意に操作レバーを押して、けがをす
るおそれがあります。

注意：作業中に研削盤が破損したり、保護ガードや電動工具の固定具が破損した場合、電動工具の使用を中止してください。

3-3. 研磨工具の取り付け

・砥石交換の際は、冷めるまで触れないでください。作業中ディスクは非常に高温になることがあります。

・交換の際は砥石と装着するすべての部品を清掃してください。砥石を締めたり緩めたりするには、砥石抑えネジロックボタンを前方に押し、同時に砥石を回転させて、砥石抑えネジを固定します。

砥石が動いている間は、砥石抑えネジロックボタンを押さないでください。電動工具が破損する恐れがあります。

・砥石の寸法に注意してください。穴の直径は、取り付けフランジの直径と一致させる必要があります。アダプターやスペーサーを使用しないでください。ダイヤモンド切削ディスクを使用する場合、ダイヤモンド切削ディスクの回転方向矢印が機械の回転方向と一致していることを確認してください。

・取り付け方法については、下の図を参照してください。砥石を取り外すには、砥石を回すと同時に砥石抑えネジロックボタンを押して、砥石抑えネジを所定の位置に固定し、六角レンチで固定ボルトを外し、砥石を取り外します。取り付けるには、必要に応じてワッシャーをはさみ、砥石抑えを取り付けた後六角レンチを使用して最後までボルトを締めます。砥石取り付け後は、製品のスイッチを入れる前に、砥石の回転に問題がないことを確認してください。



4. 操作

4-1. バッテリーを取り付ける

【注意】適さないバッテリーを使用すると誤動作や破損の原因になります。充電したバッテリーを、ハンドルにかみ合うまで差し込みます。

4-2. 操作のオン/オフ

- ・本製品を起動するには、操作レバーを握ってください。レバーを握った状態でホールドスイッチを押すとずっと砥石が回転し続けます。もう一度操作レバーを軽く握るとレバー固定状態が解除されます。
- ・砥石は使用する前に必ず点検してください。砥石は正しく装着され自由に動くことができなければなりません。無負荷で少なくとも 1 分間は試運転をしてください。破損、動きがおかしい砥石、使用中に振動する場合は使用しないでください。破損した研磨工具は破裂して怪我の原因となることがあります。

4-3. ヘッド部分回転

ヘッド方向回転スイッチを上押しあげながらヘッドを回すことにより、ヘッド角度を左右それぞれ 90 度に変えることができます。

4-4. 使用上の注意

- ・構造壁の溝を切断する場合は、注意してください。
- ・手での固定で安全が確保できない場合は、加工物をクランプで固定してください。
- ・電動工具が停止するほど大きな負荷をかけないでください。大きな負荷がかかった場合は無負荷で数分間運転し続け、付属品を冷却してください。

4-5. 砥石

- ・メタルソーを使用する場合は、必ず保護カバーを使用してください。
- ・作業の際には、加工する材料に適した適度な送りを行ってください。砥石に圧力をかけたり、本製品を傾けたり揺らしたりしないでください。切断面から制御不能な状態で押し出されるおそれがあります。
- ・切断砥石を使用する際は、十分に換気してください。
- ・防塵マスクを着用してください。